

- 平成27年4月21日に「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム(代表:名城大学福田教授)」を設立、第1回会議を開催。
- 会議には、学識者・公募会員等100者超が参加、産・学・官の各分野からインフラ用ロボットの状況を発表。
- 今後は、会員への情報共有・情報交換の場の提供、インフラ用ロボットのデモ実施について検討を実施。

## 挨拶



八鍬中部地方整備局長



福田名城大学教授  
(本コンソーシアム代表)



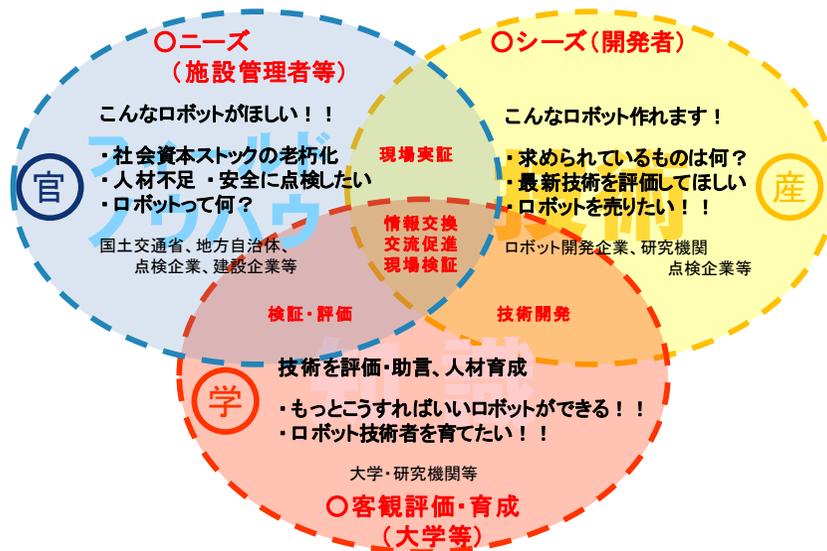
## 会議風景

## ○本コンソーシアムのイメージ

### <設立目的>

インフラ維持管理の効率化・高度化、災害時の被災状況の把握や応急対策の迅速化を図ることを目的

ロボット機械産業と建設産業との交流支援やロボットに関する情報共有が図れる場を提供



## ○今後の予定

建設分野でのロボット活用を推進するため、会員相互の情報共有を進めるとともに、有効なWGを立上げ、年度内に次回会議を開催